

Date:2014/11/11

# 大自然の中で進む橋梁工事に感嘆！

## －石川高専・環境都市工学科4年生が利賀ダム現場を見学－

利賀の山々の紅葉も美しく、雲一つなく晴れ渡った10月29日(水)、石川工業高等専門学校4年生43名と担当教授が利賀ダムの工事現場を訪れました。これは設計製図の授業の一環として行われたもので、ダムサイトや昨年完成した利賀湖面橋、「利賀ダム下島大橋上部工工事」の施工現場、上部工事の着工を待つ豆谷橋梁及び庄川橋梁を見学してもらうとともに、利賀ダム事業計画や各構造物の特徴、施工上の手順や工夫などを理解してもらいました。

ダムサイトでは、規模の大きさや現林道のはるか上にある貯水位の高さに驚いたり、工事用道路を作る必要を理解する様子、また、事前に利賀ダムを勉強してきてくれ質問する学生さんがみられるなど、ダム事業に関心をもってもらえたのではないかと感じました。



利賀ダム建設事業について、まず説明



利賀湖面橋の竹割り構造物に興味深げにのぞき込む

Date:2014/11/11

利賀湖面橋では、環境面やコスト縮減の観点から橋脚工事に採用した竹割り型構造物掘削工法やハイブリット・スリットフォーム工法を説明。また、「利賀ダム下島大橋上部工工事」の施工現場では、付替市道や工事用道路の計画について理解してもらうとともに、実際に工事を行っている建設会社の技術者2名(なんと石川高専の卒業生でした!)から、PC橋梁の構造的特徴や張出し工法やPCの緊張方法、ワーゲンの移動方法などの説明を受け、施工状況やPC鋼材なども直接見てもらいました。豆谷橋梁と庄川橋梁の施工予定地では、上部工の構造型式や工法の選定などについて理解してもらいました。

今回は就職活動を控えた4年生が対象ということでしたので、現場見学で社会資本整備や建設界の魅力を感じるとともに、北陸地方整備局や建設会社の仕事の内容についてある程度理解して頂き、今後の進路を決める上で参考になったとすれば幸いです。

今後も、学生さんや一般の方に、建設界の魅力や土木技術のすばらしさを、もっともっと伝えられるよう努力していきたいと考えています。



橋種はどうやって決めるの？



学校の先輩から工事の概要を説明



完成間近の下島大橋と